

令和5年度

網走市における景気動向調査

<第IV四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1	調査時点及び調査対象期間	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	回収状況	1

第2章 概況

2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
1)	建設業	3
2)	製造業	4
3)	卸売業	4
4)	小売業	5
5)	サービス業	5

第3章	業種別設備投資の状況	6
-----	------------	---

第4章	業種別経営上の問題点	7
-----	------------	---

第5章	業界の景気動向等その他のご意見	8
-----	-----------------	---

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和6年1月1日（月）～令和6年3月31日（日）
- (2) 調査対象期間：令和6年1月～3月期実施、及び令和6年4月～6月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

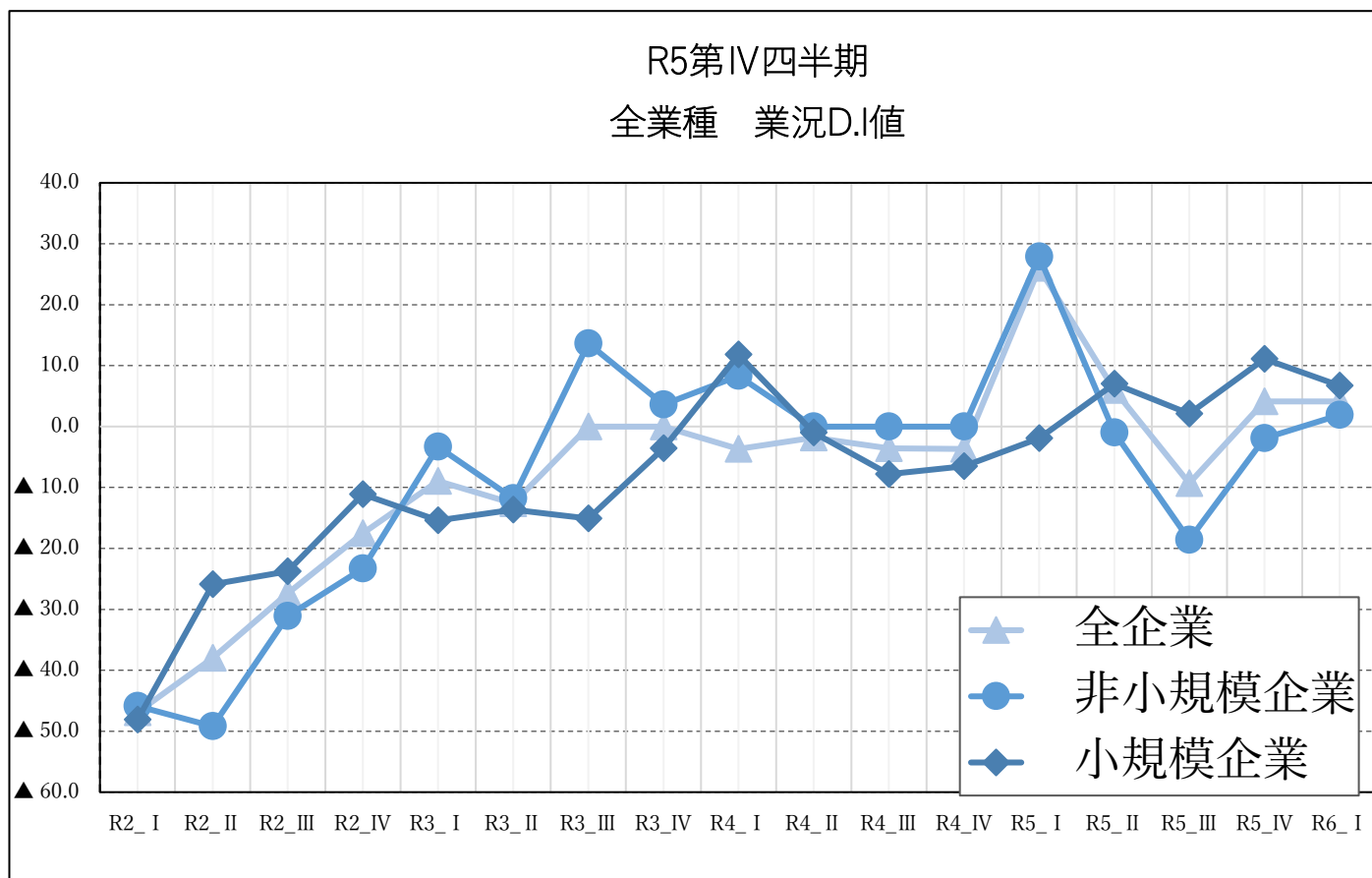
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Google フォーム）による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	20件（非小規模企業：12件、小規模企業：8件）	66.7%
製造業	24件	16件（非小規模企業：8件、小規模企業：8件）	66.7%
卸売業	20件	10件（非小規模企業：5件、小規模企業：5件）	50.0%
小売業	40件	28件（非小規模企業：16件、小規模企業：12件）	70.0%
サービス業	44件	24件（非小規模企業：12件、小規模企業：12件）	54.5%
合計	158件	98件	62.0%

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和5年度第IV四半期（1月～3月）の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」20.4%、「悪化企業」16.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は4.1となり、前回（D.I.値△9.3）に比べ、その差は13.4ポイント好転傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」18.9%、「悪化企業」20.8%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は△1.9となり、前回（D.I.値△18.6）に比べ、その差は16.7ポイント好転傾向となっています。

小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」22.2%、「悪化企業」11.1%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は11.1となり、前回（D.I.値2.1）に比べ、その差は9.0ポイント好転傾向となっています。

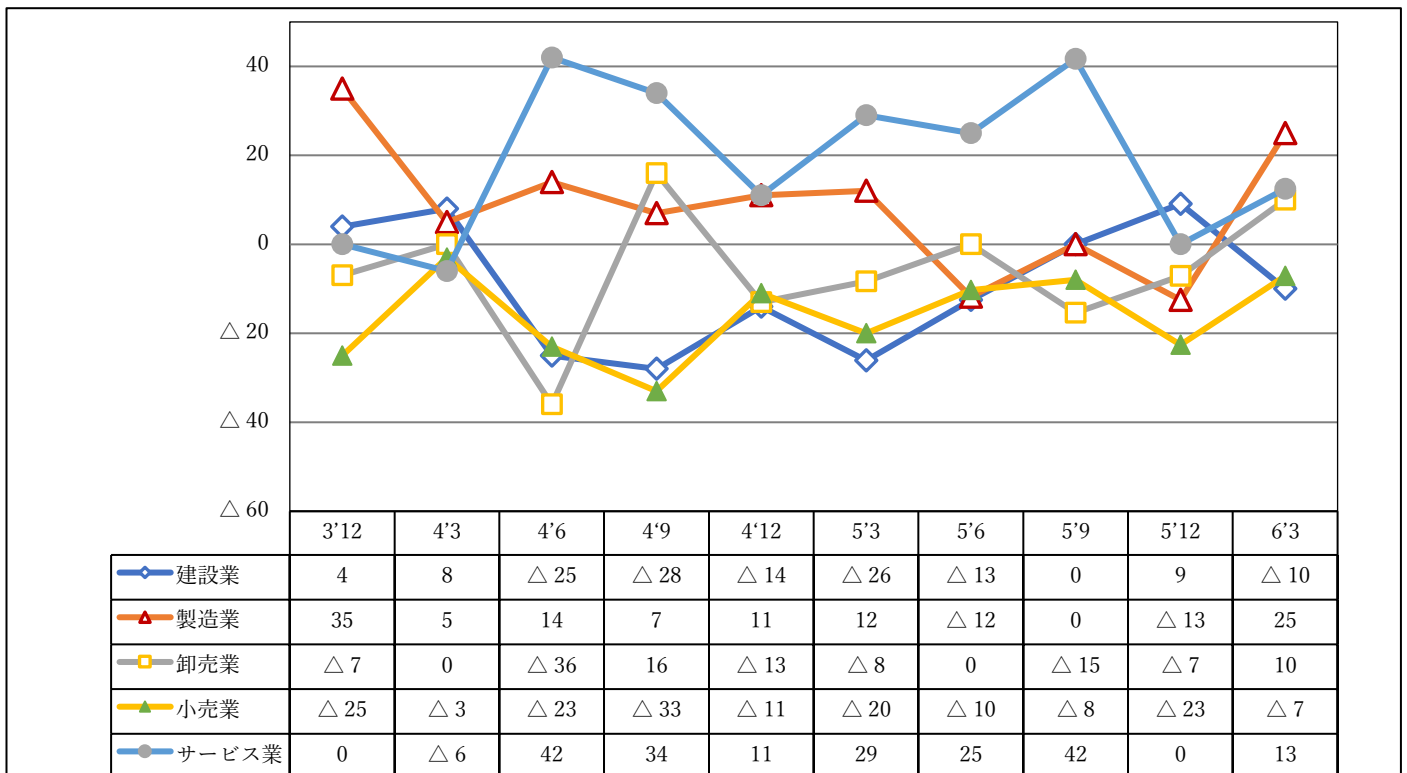
次期（4月～6月）見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」18.4%、「悪化企業」14.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は4.1となり、今期（D.I.値4.1）に比べ、その差は0ポイントとなっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」18.9%、「悪化企業」17.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は1.9となり、今期（D.I.値△1.9）に比べ、その差は3.8ポイント好転傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」17.8%、「悪化企業」11.1%となり、「好転企業」

から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は 6.7 となり、今期 (D.I.値 11.1) に比べ、その差は 4.4 ポイント悪化傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

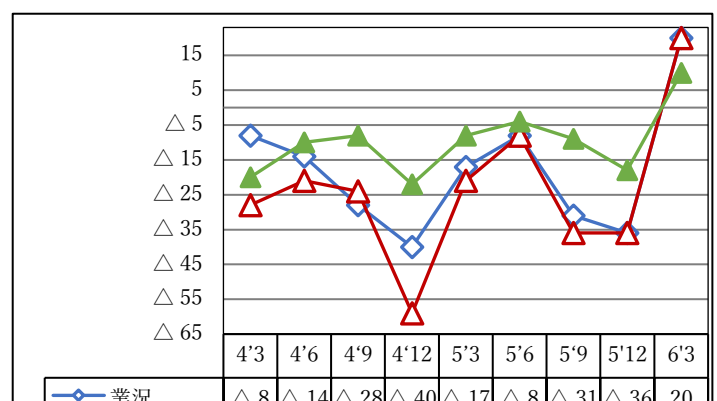
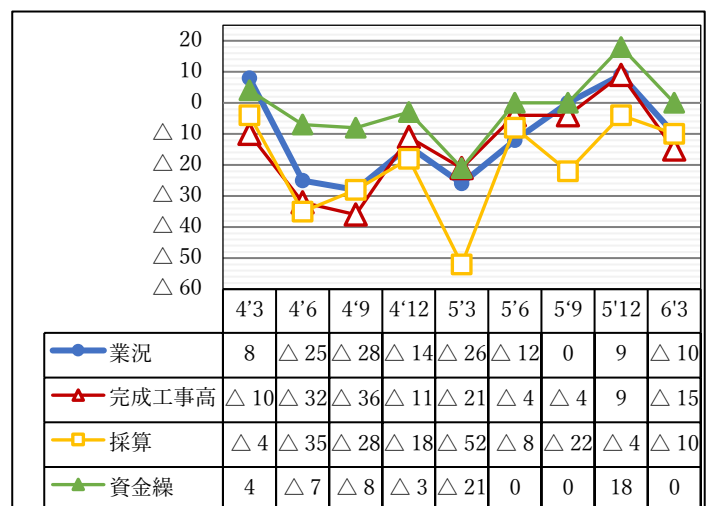
前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」25.0%、D.I.値△15.0 と前年同期 (△21.7) に比べ 6.7 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」30.0%、D.I.値△10.0 と前年同期 (△52.2) に比べ 42.2 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 20.0 (前年同期 D.I 値△17.4)、完成工事高 D.I.値 20.0 (同△21.7)、資金繰り 10.0 (同△8.7) と前年同期に比べ、



全ての見通しで好転傾向を示しました。

2) 製造業

生産高

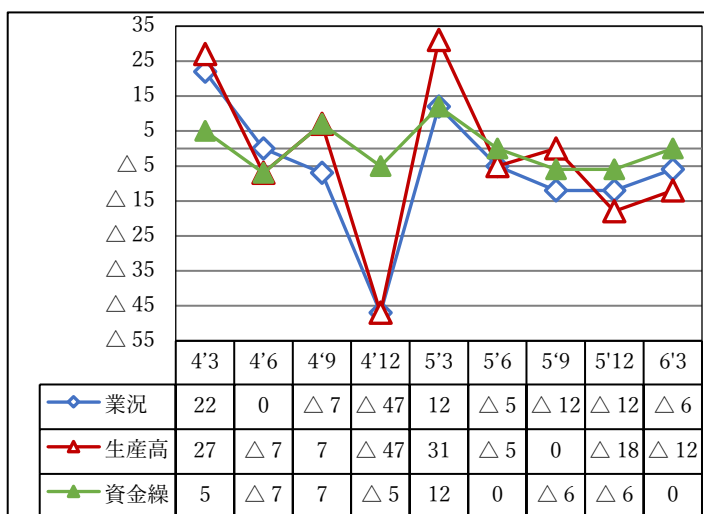
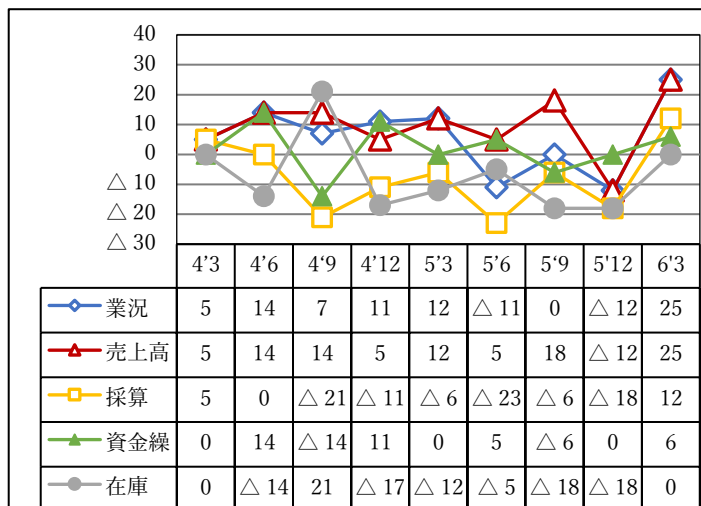
前年比で「好転企業」37.5%、「悪化企業」12.5%、D.I.値 25.0 と前年同期 (12.5) に比べ 12.5 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」31.3%、「悪化企業」18.8%、D.I.値 12.5 と前年同期 (△6.3) に比べ 18.8 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△6.3 (前年同期 D.I. 値 12.5)、生産高 D.I. 値△12.5 (同 31.3)、資金繰り 0.0 (同 12.5) と前年同期に比べ、全ての見通しで悪化傾向を示しました。



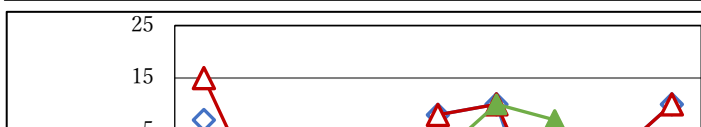
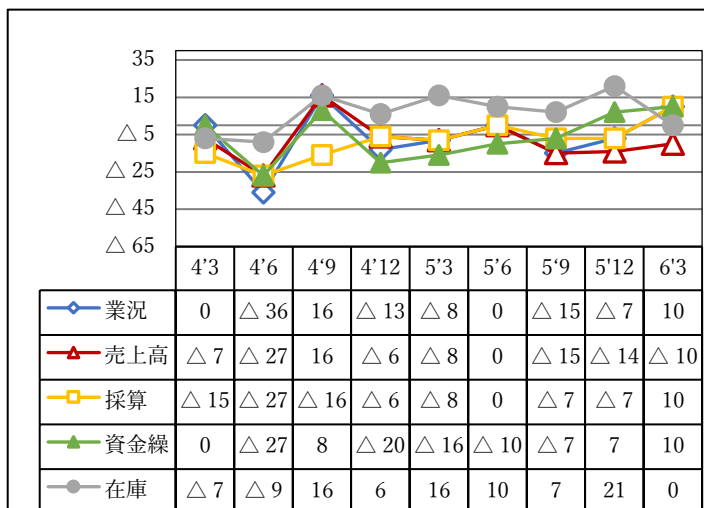
3) 卸売業

売上高

前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」20.0%、D.I.値△10.0 と前年同期 (△8.3) に比べ 1.7 ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」0.0%、D.I.値 10.0 と前年同期 (△8.3) に比べ 18.3 ポイントの好転傾向を示しました。



来期見通し

業況 D.I 値 10.0 (前年同期 D.I 値 8.3)、
 売上高 D.I.値 10.0 (同 8.3)、資金繰り 0.0
 (同 0.0) と前年同期に比べ、2つの見通しで
 は好転傾向を示しました。

4) 小売業

売上高

前年比で「好転企業」7.1%、「悪化企業」
 17.9%、D.I.値△10.8 と前年同期 (△13.3)
 に比べ 2.5 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」3.6%、「悪化企業」
 21.4%、D.I.値△17.8 と前年同期 (△20.0)
 に比べ 2.2 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

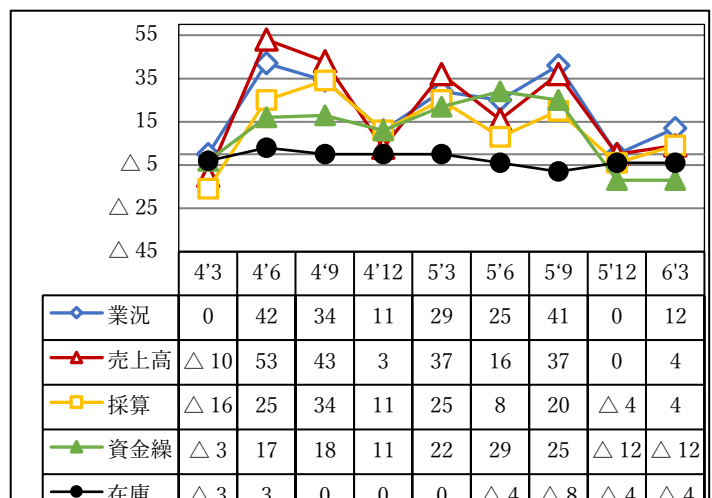
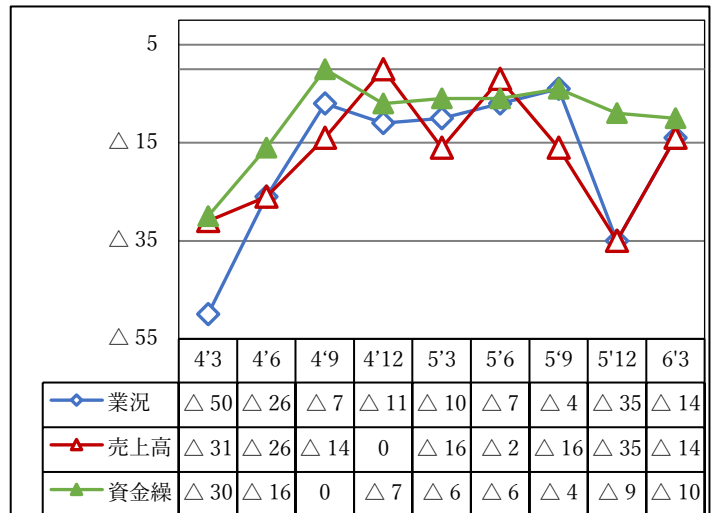
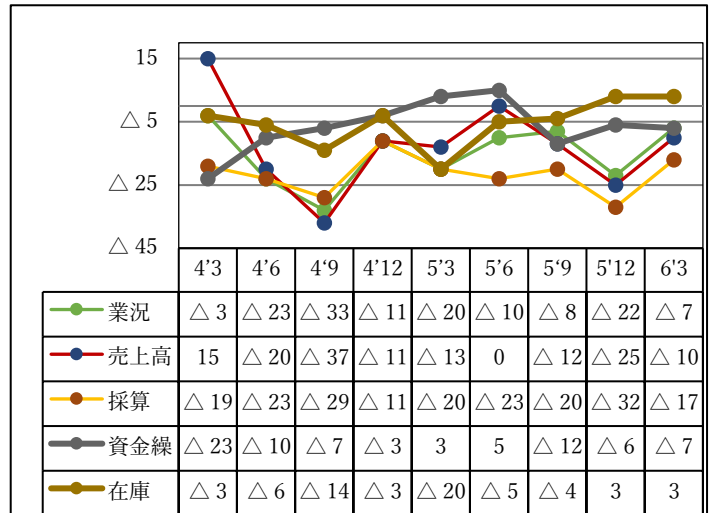
業況 D.I 値△14.3 (前年同期 D.I 値△10.0)、
 売上高 D.I.値△14.3 (同△16.7)、資金繰り
 △10.7 (同△6.7) と前年同期に比べ、
 2つの見通しで悪化傾向を示しました。

5) サービス業

売上高

前年比で「好転企業」20.8%、「悪化企業」
 16.7%、D.I.値 4.1 と前年同期 (37.0)
 に比べ、32.9 ポイントの悪化傾向を示しました。

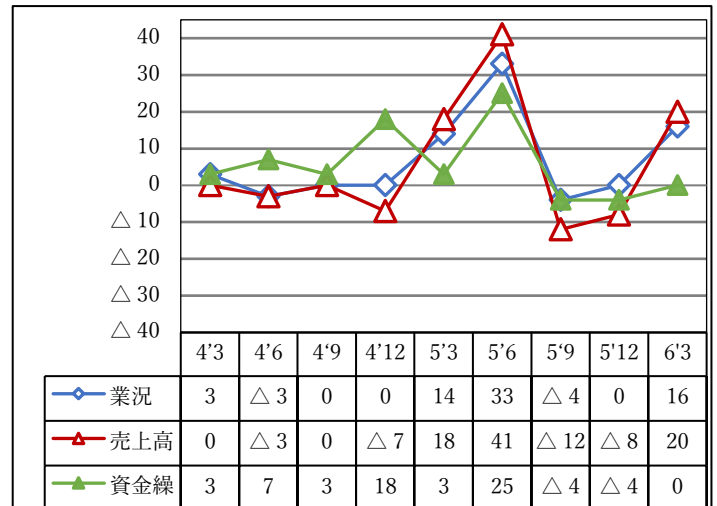
採算



前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」20.8%、D.I.値 4.2 と前年同期（25.9）に比べ 21.7 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 16.7（前年同期 D.I 値 14.8）、売上高 D.I.値 20.8（同 18.5）、資金繰り 0.0（同 0.0）と前年同期に比べ、2つの見通しで好転傾向を示しました。



5

第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	5 件	3 件	0 件	2 件	3 件	13 件
実施していない	15 件	13 件	10 件	26 件	21 件	85 件
合計	20 件	16 件	10 件	28 件	24 件	98 件

表2 業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	1 件	0 件	0 件	1 件	1 件	3 件
店舗	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
販売設備	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
車輛運搬具	3 件	1 件	0 件	0 件	1 件	5 件
付帯設備	2 件	2 件	0 件	0 件	0 件	4 件

※複数回答あり

○全業種でみると設備投資に実施したのが13件、実施していないが85件となりました。前回は設備投資を実施したのが23件、実施していないが84件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具、付帯設備、次いで土地となっています。前回は車輛運搬具が最も多く、付帯設備が2番目に多く占めていました。

6

6

第4章 業種別 経営上の問題点

表1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合
製造業	諸経費増	人件費増	人材不足	同業者間の競合	売上の不振
卸売業	諸経費増	人材不足	売上の不振	得意先減少	同業者間の競合
小売業	人材不足	人件費増	得意先減少	諸経費増	同業者間の競合
サービス業	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先減少	売上の不振
全業種	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位5位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると、全業種で「人材不足」、「諸経費増」、「人件費増」が多く占めており、建設業、小売業では前回同様、「人材不足」が多く占め、製造業、卸売業、サービス業では「諸経費増」が多く占めました。

第5章 業界の景気動向等その他のご意見

○業界の問題点について

【建設業】

- ・建設資材高騰に対して、零細企業は価格転嫁出来ていないのではと思う。

【小売業】

- ・値上げに伴う売り上げ減少。
- ・後継者の問題。

【サービス業】

- ・慢性的な人材不足です。
- ・業界全体の課題として技術職員の高齢化もあり、人材の確保・技術継承について当該業種・地域性の魅力を発信し、若手技術者の確保に繋げることが必要です。
- ・道東地域にも影響が出ているが訪問外国人の数は増えている（全体として）ものの、空港別にすると千歳空港だけが（国内主要空港の内）便数、席数とも2019年比の5割強程度に減少している。ニュースにも出ていたが要因として燃料不足による海外航空会社が乗り入れ中止を発表している現状があり、道、国としても対策を打ち出していきたい。

